

## 水路クリーンアップ

雨の多くなる時期に備えて、地域内の水路の「泥上げ・清掃」などを共同作業で実施しました。

毎年5月は小郡地域の一斉清掃期間です。八方原区では例年、田植え前の用水路の清掃と兼ねて実施してきました。本年は従来のような清掃パッカー車の当日回収はなくなったとのこと、パッカー車の到着を待つ必要はな

くなりました。

5月25日、作業が実施されましたが、地区内の都市下水工事の工和建設株式会社からも3人の応援があり、合計36名の参加者で取り掛かりました。一般の方で、道具をお手持ちで無い方には当会が用意したスコップ、ジョレンなどをお貸ししました。

下水工事の関係で水路はかなりきれいにされていたこともあり。例年に比べると非常に早く作業が進みました。参加の皆様、お疲れ様でした。



例年なら大量の土砂が堆積して草が繁茂しているところも、この通り

## 一致協力 排水路の泥上げ作業



排水路ではありませんが西の池水路の清掃も今回の作業です

排水路の泥上げ作業は、共同作業の中でも一番きついものかも知れません。水を含んだ泥をすくいあげて、畔までほうり上げる作業を延々と繰り返します。

5月11日、農家を中心とした共同作業が行われました。今年の前日までの好天で水路の泥は乾いており、比較的作業はスムーズに進みました。とはいえ、半年間で根を張った草ごと取り除くことになりやすから、途中で休みながらの作業です。

水路の中に、ヒバリの雛が。どうやらひばりの巣を壊したようです。なんとか生き延びて欲しいものです。



「押せ！」排水ゲートを動かしてごみを除去

# 「自分たちで身を守る」自治会の避難訓練

公共的な施設の避難訓練が年2回実施することになって数年がたちました。本年も八方原消防組と自治会とで避難訓練と消火訓練を実施しました。

公民館の台所から出火したという設定で行われ、自治会長の「火事だ」の声で、訓練が始まりました。消防組は消火作業として防火水槽からポンプで

放水、別の班は負傷者の搬送で、台所から朝市広場まで担架で運びます。公民館からの避難者を朝市広場に誘導する担当も必要です。

先ごろ東津地区で夜明け前に住宅火災が発生し、一人が亡くなっています。が、実際の緊急時にも、こうした冷静な作業ができなくてはなりません。

## 運動を楽しむ一日

小郡地域大運動会が5月18日、小郡中学校グラウンドで開催されました。



小学校校区対抗の玉入れ、伝統的な人気の競技

年々参加する自治会が減少し、今年は26チームの参加でした。

八方原自治会は、地区対抗リレー以外は全種目に参加し、健闘しましたが、勝ち運に恵まれず得点11点で全体の22位でした。



テントの中は地域の社交場

成績はさておき、運動会は参加することに意味があるとも言えます。テントの中では笑い声が絶えず、日頃顔を合わせない仲間が肩をたたき合いました。そして慰労会では、お互いの健闘を称えあい、語り合いました。



「落ち着いて」が一番大事(5月11日)

避難訓練の後は「消火器の使用」を体験しました。消防署の職員からのアドバイスは「落ち着いて、火元を見定めて放水すること」でした。

## 消防組の防災活動

5月11日八方原消防組は、大雨の時期に備えて必要か所に土のうを配置しました。例年の作業ですが、配置する場所付近の確認や、消防設備の点検も一緒に行いました。

中には消火栓のふたがきつくて、簡単には開かないものがあります。自動車などの通過で、砂などが隙間に入り込む場合があるのでしよう。

こうした設備を使わないで済むように、お互いに気を付けたいものです。



110個の土のうを詰めて、危険個所に配置

「山田錦」大吟醸の酒米  
八方原地区のお米も日本酒になるものが少なくありません。山口県内には西都の雫という独自の品種もありますが、全国的な代表品種といえば「山田錦」です。この酒米を栽培する阿東地区の方のお話を聞くことができました。  
阿東では例年5月の連休には田植えを済ませますが、山田錦は6月に植えて、10月に刈り取るのだそうです。ずんぐりしたお米ですが、できるのは10アル当たり240kg程度とのこと。難しそうです。